

令和元年度 第2回 教科用図書東濃採択地区協議会 会議録

東濃採択地区協議会事務局

I 日 時 令和元年7月10日(水) 10:00～16:30

II 場 所 バロー文化ホール(多治見市文化会館) 大会議室

III 出席者 委員35名中 35名出席

IV 議事要旨 【進行】東濃採択地区協議会 会長

1 会の成立確認及び開会

- ・委員35名全員出席 → 協議会規約第11条の規定により、会の成立を確認。
- ・本日の協議会は、教科書採択の公正確保のため非公開とする。

2 会長あいさつ

- ・第1回協議会において承認された研究員が、綿密な調査研究を行い、その結果を調査研究結果として取りまとめ、本日報告いただく。
- ・小学校用教科書についての協議が中心となる。また、調査研究は行っていないが、道徳以外の中学校用教科書も採択年度であるため議事に挙げている。
- ・研究員からの報告について慎重かつ積極的に審議し、各市の採択へとつなげていく。
- ・東濃地区の子供にとって、最もふさわしい教科書の選定をお願いしたい。

3 経過報告

- ・6月17日から7月8日の間、各種目4回の研究員会を実施し、調査研究を行った。
- ・6月14日から27日にかけて、東濃地区内6会場で教科書展示会を開催した。
- ・本日の協議会は非公開だが、議事録等は9月1日以降、公開対象となる。

4 議 事

(1) 令和2年度使用小学校用教科用図書に係る調査研究結果の報告及び質疑応答・協議

- ・全種目について、研究員が「東濃採択地区基準に即した具体的な調査内容」と「調査研究結果(意見書)」をもとに報告を行った後、質疑応答・協議を実施した。

①【種目：国語】

- | | |
|-----|---|
| 委 員 | 総合的に東京書籍と光村図書出版の優れている点がよく分かった。その上で、 |
| Q1 | 「主体的・対話的で深い学びの実現」と「ICTを活用した学習活動の充実」の観点から各者の特徴を詳しく説明していただきたい。 |
| 研究員 | 東京書籍は、吹き出しで話し方の例を親切・丁寧に示している。光村図書出版 |
| A1 | は、途中まで例を示し、あとは自分たちで対話を深めていく工夫があり、主体的・対話的で深い学びの実現には、光村図書出版の方がより優れている。また、ICTの活用については、取り扱っている数でなく内容を重視した。東京書籍はワークシートが中心である。光村図書出版は、動画などが効果的に取り扱われており、文字からだけでは得られない情報を補完している。 |

委員 Q2	国語では、動画から想像することよりも、言葉によって思考することが基本である。だから、東京書籍はあえて動画を使っていないのではないかな？小さな頃からスマホ等で動画を見せるのではなく、絵本を読み聞かせるなどして子供の言葉の力を育てていくので、例に示されたハマグリの動画についても、言葉から一生懸命想像することで言葉の力を付けていくと考える。
研究員 A2	映像を示し過ぎることが言葉の力を育む弊害とならないかという点については、研究員でも協議した。低学年の児童のように、言葉だけでは理解が難しい子に対する支援として動画は有効で、学年が進むにつれ、家庭学習など、授業以外の場での活用も考えられる。動画在りきではなく、言葉に着目し、言葉から想像して理解を深めていく過程において、児童の興味・関心を深め、理解を助長するものであれば動画もポイントとなる。
委員 Q3	どの発行者も概ね上巻・下巻の分冊にしているが、5・6年生の教科書を、東京書籍と光村図書出版だけが分冊にしていない点についてどうか？
研究員 A3	調査研究では、既習内容をふり返りながら関連付けて学んだり、1年間の学習に見通しをもって学んだりすることへの配慮だという結果を得た。
採 決	<全員一致により、 <u>光村図書出版</u> の教科書を選定>

②【種目：書写】

委員 Q4	1年生へのひらがな指導の経験から、教育出版のように「ピタ・ピタ・スー」とリズムで示すよりも、筆順を重視し「イチ・ニー」と示している光村図書出版の方が適切である。また、情報量も精選されていてよい。
委員 Q4	光村図書出版は、例えば1年生で「まがり」と「おれ」、「むすび」の後に「こい」で書き順に特化した内容を取り扱っていることや、4年生の毛筆で大きく一文字書くものの間に「左右」のように半紙に二文字書くものが混在し、教科書の順に指導する際、難しさが逆になっていないか？
研究員 A4	教材の配列については、各者一長一短があったが、総合的に見たとき、光村図書出版の見やすさ・分かりやすさへの配慮がより優れていると考える。
採 決	<賛成多数により、 <u>光村図書出版</u> の教科書を選定>

③【種目：社会】

委員 Q5	歴史の学習が6年生の後半になったが、前半で政治について学ぶようになることは、指導時期として適切か？児童の理解は十分なものとなるのか？
研究員 A5	東京書籍は、歴史編と政治・国際編の分冊となっている。史実や社会事象の詳細については、中学校でも学び直す。小学校では、歴史や政治、世界とのつながりについて学ぶ構えや考え方の素地を培う。また、東京書籍は、読み物資料よりも自身の経験から考えたり仲間と学び合ったりする活動を重視しており、6年生なりに社会的な事象と関わる構成となっている。
委員 Q6	現代史の取扱いは、各者どのようか？
研究員 A6	東京書籍は11ページ、教育出版は15ページ、日本文教出版は16ページの分量となっている。
委員	東京書籍は、今日的な歴史認識や定説を正しくとらえた内容となっている。例えば、参勤交代において徳川御三家以外の大名行列に農民が土下座した事実はな

いというのが今日の定説。また、江戸時代の身分制度はなかったというのが定説であるし、「百姓＝農民」としていないところもよい。「鎖国」という言葉は当時なく、「後に鎖国といわれるようになった」という表現も適切である。

採 決 <全員一致により、東京書籍の教科書を選定>

④【種目：地図】

- 委 員 地図帳と教科書を同じ発行者にした方が使いやすいという考え方はないか？
Q7 東京書籍の教科書が評価された「岐阜県や地域から広げて学ぶ」という点からも、一般的には、「同じ発行者の地図帳を使った方がよい」という意見は予想される。
- 研究員 東京書籍は、教科書とのリンクを図っている。それ以上に、帝国書院の「地図を学ぶ」という地図帳としての作り込みを重視した。また、東京書籍の教科書で学ぶ場合においても、帝国書院の地図が有効に活用できると考える。
A7
- 委 員 それぞれの種目において評価基準を設けて調査研究を行っているので、社会の教科書の選定に通底する考え方と地図は別物でよいと考える。

採 決 <全員一致により、帝国書院の教科書を選定>

⑤【種目：算数】

- 委 員 全国学調の結果と使用教科書の相関について調べてみた。東京書籍が優れているという立場で発言する。全国学調で1位から10位に入る県で、大日本図書の教科書を使用している県はなかった。秋田県や石川県は、東京書籍を使用している。福井県は、新興出版社啓林館を使用している。大日本図書の使いづらさが全国学調の結果に影響しているということはないだろうか？
Q8
- 委 員 “使いづらさ”の具体は何か？使用教科書と全国学調の結果が全てではないと考える。現在使用している教科書の大きな影響があれば示していただきたい。
- 委 員 ずっと大日本図書の教科書を使い続けているので、一度替えてみることで、実際に使ってみて検証することもできるという立場で発言した。
- 委 員 その指摘も理解できる。一方、算数・数学を専門とする教員の立場からすると、大日本図書は、4年生から数直線を大切に扱っており、系統的に学べる手立てとしている。中学校も大日本図書を採択しているが、全国学調の結果は決して悪くない。9年間を通した算数・数学教育の成果ととらえることもできる。
- 研究員 算数の教科書の全国シェアは承知していたが、全国学調の結果と結び付けて考えてはいない。今回の選定にあたり、採択地区基準を踏まえた調査内容を具体化し、6者を白紙の状態から調査研究して出した結果である。
A8
- 委 員 シェアで判断するのは、よくないと考える。あくまでも調査研究に基づくものであるべき。過去は過去として考えたい。各者、次期学習指導要領に基づき内容をリニューアルした教科書を発行している。
- 委 員 自校の教員からは、「大日本図書の教科書は、単位時間あたりの内容が多い。」と聞いている。調査項目3には、「教員の経験年数等にかかわらず、適切な指導と評価のできる教科書」とあるが、その点をどのように補っていくのか？
Q9
- 研究員 単位時間の内容は、どの発行者も多くなっている。大日本図書の教科書（6年109ページ）は、板書例が教科書に示されており毎時間のめあてからまとめまで明示されているので、教員が“教科書で教える”ことや児童が“自学・自習に活用する”ことで十分力を付けていく内容であると考ええる。
A9

委員	保護者として子供から算数について質問されることもあった。そんな時、大日本図書の教科書は丁寧で、自分が思い起こして子供に教えるのにも役立った。
委員	調査項目2「ふるさと教育」に関して、報告からはそれほど大きな差はないように感じた。一方、算数は、確実な理解と定着が教師にも児童にも求められるので、調査項目3「教員や児童の実態に即した教科書」を重視する必要がある。
委員	例えば2年生の九九について、どの段から入るかという議論は昔からされてきた。問題数についても話題になった。どの発行者も教科書検定に合格しているので、内容とともに「東濃地区の実情に即した教科書」という観点は大切にしたい。
採決	＜賛成多数により、 <u>大日本図書</u> の教科書を選定＞

⑥【種目：理科】

委員	東京書籍の教科書は、問題からまとめまでが明示されている。理科は、実験・観察を通して学ぶ場面が多いので、指導に不安を抱える教員にとっても、学習内容の確かめに十分活用できる。例えば、「ものの燃え方と空気」の学習では、写真資料等がふんだんに盛り込まれており、児童が家庭学習にも十分活用できる。
委員 Q10	調査項目1「問題解決的な学習の具現」について、まとめが出てしまっていて、児童は探究心をもって学ぶことができるのか？
研究員 A10	実際の授業においては、考察・まとめはまず自分で行い、全体交流を行った後、教科書で最終確認することが多いので、問題はないと考える。
委員	理科の学習は、事実に基づく探究が中核である。教科書を参考に理解・確認できればよいのであって、教科書そのものを勉強するわけではない。
委員	児童の探究心は、特に実験を中心に発揮されるので、まとめが示されている点についてはあまり意識したことはない。
委員 Q11	東濃地区には、活断層がある。断層や火山、大雨等の自然災害、いわゆる地学に関する内容の取扱いはいか？
研究員 A11	5年生「流れる水のはたらき」で台風との関連を取り上げている。長良川沿いの護岸を例に取り上げており、児童に災害から身を守る意識を育む内容となっている。他にも近年の異常気象について適切に取り扱われている。
委員 Q12	次期学習指導要領では、小学校におけるプログラミング教育が必修化される。理科の教科書では、どのような取り上げ方がなされているのか？
研究員 A12	6年生「電気の利用」の学習の中で取り上げている。どの発行者についても、二次元コードで体験的に学べる工夫がなされている。
採決	＜賛成多数により、 <u>東京書籍</u> の教科書を選定＞

⑦【種目：生活】

委員 Q13	東京書籍で、iPadで拡大して虫の観察をするところがあり、時代を感じた。説明からは、ICTの活用については、東京書籍より大日本図書の方がより優れているととらえたが、そのあたりをもう少し詳しく聞きたい。
研究員 A13	総合的な評価として東京書籍が東濃地区の児童にとってよりふさわしい教科書であると判断した。また、他者は二次元コードから直接資料を閲覧できるのに対し、東京書籍は、一つのアイコンから入っていくという違いがあった。
採決	＜全員一致により、 <u>東京書籍</u> の教科書を選定＞

⑧【種目：音楽】

委員 Q14 目次を比較したところ、教育芸術社の方が各学年1題材ずつ多いようだが、その理由は？

研究員 A14 教育出版と教育芸術社の題材構成は、全く異なっている。教育出版は、学びの形態や学び方で題材が構成されているが、教育芸術社は、強弱・速さ・音色・和音等、音楽を構成する諸要素から題材を構成している。

委員 Q15 調査項目3「児童が自ら関心をもって読み進め、自学・自習に活用できる工夫」については、2者とも特に優れているといった報告はなかったがどうか？

研究員 A15 自学・自習については、児童が教科書を家に持ち帰って復習するにはある程度活用できるが、事前に自分だけでやってみようと思った時には、なかなか難しいとの結論を得た。

委員 Q16 教科書におけるICTの活用について、各者の特徴をもう少し詳しく説明していただきたい。

研究員 A16 教育芸術社は、二次元コードによって模範演奏を聴いたり、文字による曲の解説を見たりすることができる。一方、教育出版は、模範演奏等の他にも例えば、とんびの鳴き声など、教材と関わりのある自然界の音などを聴くことができ、体験の乏しい児童にとっては、曲想をつかむ助けとなっている。

採決 <全員一致により、教育芸術社の教科書を選定>

⑨【種目：図画工作】

委員 Q17 日本文教出版の方が題材のバランスがよいという説明だったが、それは6年間を通してなのか、各学年なのか？

研究員 A17 6年生を例に説明したとおり、日本文教出版の方がバランスがよい。他学年についてもほぼ同様のバランスとなっている。

委員 Q18 低学年では造形遊びを多くし、高学年では絵を描くことを多くするなど、学年毎に重点化を図るような配慮はあるのか？

研究員 A18 そのような題材の取扱いにおける配慮は、なされてない。各学年においてバランスよく取り上げるものである。

採決 <全員一致により、日本文教出版の教科書を選定>

⑩【種目：家庭】

委員 保護者の立場から、先生方が指導することを考えたとき、野菜のゆで方の説明やミシンの使い方の説明など、初めて経験する児童にとっては、開隆堂出版の方がより丁寧な教科書であると感じた。

委員 Q19 東京書籍と開隆堂出版では教科書の大きさが随分異なる。小さい方が情報量を制限されるかと思ったが、二次元コードから閲覧すると開隆堂出版は豊富な動画などがあり、求めれば使えるものが見つかるようになっていた。ただ、豊富なコンテンツを有効活用できるだけの環境がどの学校にも整備されているのか？また、開隆堂出版は題材数が多いので、授業時間数の確保については大丈夫か？

研究員 A19 二次元コードを活用しないとしても、開隆堂出版の方が端的な文章で示し、視覚的にとらえやすい挿絵を配することで、基礎的な技能を身に付けることにつながる内容となっている。題材数については、細かく分けてはいるが、時間数がそれほど増えているわけではない。

委員	家庭科を専門とする教員の立場から、ソーイングの内容が盛りだくさんなので題材数が多いととらえられることがあるかと思う。学習指導要領の改訂で、5・6年生では「袋物の製作」を行うこととなった。ミシンの基礎縫いを習得し、それを活用して製作するので、たくさん作品名はあるが、実際の指導は「直線縫い」と「袋縫い」のまちの取扱いだけなので、それほど題材が多いわけではない。また、題材の指定も開隆堂出版は適切になされており、教科書が小さくても、二次元コードを使ってまず教師が技能を取得し、それを児童に示範すると考えるとよく工夫されていると考える。
委員	開隆堂出版の3ページから5ページに示されている「家庭科学習の進め方」を教師と児童が共有し、“支えられている自分”と“支える自分”を柱として3つのステップで学習を進めていくことに見通しをもてるのが、経験の浅い教員であっても確実に指導しきることにつながっていくと考える。
採決	<全員一致により、 <u>開隆堂出版</u> の教科書を選定>

⑪【種目：保健】

委員	内容の系統性・発展性において、東京書籍がより優れているという説明であったが、マークの使い方の巧みさとともに内容についてはどのようなであったか？
Q20	
研究員	東京書籍の方が、内容に多様性がある。その方が、児童の興味・関心に応じて選択の幅があり、個々の課題追究の充実に資するものであると考える。
A20	
委員	保健に限らず ICT の活用について調査研究の報告を受けたが、二次元コードのリンク先の内容は、どの程度調査研究を行っているのか？種目によっては、リンクの数（多さ）を評価するようなことになっていないかを危惧する。
委員	確かに保健においても、学研教育みらいはリンクを貼っているものが多く、東京書籍は独自に作成したコンテンツを閲覧できる形になっている。
採決	<全員一致により、 <u>東京書籍</u> の教科書を選定>

⑫【種目：英語】

委員	東京書籍の題材「夏の思い出」で取り扱われている過去形は、中学2年生の内容だと記憶している。小学校で取り扱うことは、指導が難しいのではないか？
Q22	
研究員	小学校においても言語材料として取り扱っている。ただし、小学校では、音声言語として繰り返しスパイラルに慣れ親しみ、中学校では、学習内容として押さえることになる。
A22	
委員	各者二次元コードを多く取り入れているが、ALT が参画する授業での活用のイメージはどのようなであるか？
Q23	
研究員	東京書籍には、ALT 用の指導案集が英語版で準備されており、ALT との打ち合わせにも十分活用できる内容となっている。児童にとって、ALT と一緒に活動する経験は重要であり、自信にもつながる。
A23	
委員	ICT の活用について、他教科では、二次元コードを活用して教師が児童に示す場合が多い。学校ではタブレット端末の配備を進めているし、スマホの所持率も高まっているが、児童自身が自学・自習に活用するようなものとなっているか？
Q24	
研究員	英語においては、ICT の活用が多様性があると考え。例えば、教師が一人で指導する場合でも、学習の冒頭に音声と画像でスキットを紹介するなど有効に活用できる。また、家庭での予習・復習にも活用できる。
A24	

委員 Q25	中学２年生に１年間タブレットを持たせて５教科の学習に活用したことがある。他教科に比べ、とりわけ英語の「書くこと」の力はなかなか身に付かなかった。これは、全国的にも課題として認識されている。各者「書くこと」についてどのような配慮がなされていたか、詳しく説明していただきたい。
研究員 A25	外国語活動が外国語科へ教科化されるのに伴う大きな変更点は、高学年に「書くこと」が入ってきた点にある。「読むこと」と「書くこと」の指導については、重点的に調査研究を行った。東京書籍の Picture Dictionary は、繰り返し活用できる。また、単語が４本線上に示されており、児童が書くことへの細かな配慮がなされている。さらに、音声と文字を一致させる指導においても、二次元コードやタッチパネルによって児童が主体的に学べるよう工夫されている。
委員 Q26	小学校でコミュニケーション中心に行うことが、書くことにつながっていくという説明であった。それでもなかなか書けない子には、フォニックスから入るのも有効であると学んだ。小学校でコミュニケーションを通して読みを身に付け、中学校で書けるようになるという理解でよいのか？
研究員 A26	小学校におけるフォニックスの指導は、有効な手立てと認識している。しかし、部分的な発音を取り上げた練習は児童に必然性がなく、それほど重要ではないというのが調査研究から得た結論である。
委員 Q27	東京書籍の Picture Dictionary は、検定教科書となっている。他種目も含め、教科書中の二次元コードも検定に合格しているという解釈でよいのか？
委員	発行者によっては、二次元コードを読んでもサンプル画面が出るだけで、2020年４月からしかコンテンツを見ることができないようになっている。ということは、そこまでは検定がなされていないのではないのか？
会長	事務局で県教育委員会に確認を取るので、お時間をいただきたい。他種目についても同様であるが、英語については調査研究の過程で配慮したことは何か？
研究員 A27	ICT 活用は各者工夫しているが、取扱い方に特徴がある。研究員会においては、授業でより有効活用できるものとして東京書籍が優れているとの結論を得た。
委員	英語の教科書は、今回が初めての採択である。二次元コードについて話題に上っているが、教師の指導力や学校の指導体制等、本質的なところが重視されるべきである。調査研究の結果、総合的に判断して東京書籍の教科書がベターであるという理解をし、次回採択替えまでの検討課題ということでよいと考える。
会長	小学校外国語の教科化が打ち出された頃は、学級担任が指導することを基本としていたが、このところ英語の免許をもつ教員の確保のために、岐阜県においても教員採用試験の方法が変更されてきている。ALT の採用等、小学校外国語教育については今後の動向に注視していく必要がある。
委員	二次元コードについては、各者異なる部分がある。「インターネットにつながります。」とか「関連サイトにつながります。」とか「自社の Web ページにつながります。」などがあつた。この点からも、つながった先のコンテンツまで検定がなされたとは考えにくい。
事務局 A27	（時間を取って確認）文部科学省は、今回の教科書検定から教科書に URL や二次元コードを掲載する場合、「図書の内容と密接な関連をもつこと」や「発行者が管理する Web ページであること」などの基準を定めた。ただし、そのコンテンツの内容までは検定対象となっていない。また、県教育委員会には、「教科書採択における取扱いについては、採択地区協議会に委ねる」旨、確認した。
採 決	<賛成多数により、<u>東京書籍</u>の教科書を選定>

⑬【種目：道徳】

- 委員 Q28 調査研究結果の報告から、二次元コードについては、活用の仕方にもまだまだ課題があるので、一概にその数を評価したのではないという理解でよいか？
- 研究員 A28 そうである。ただし、35 教材の内 20 程度で活用できるので、利便性はあるものとする。
- 委員 Q29 着眼点にはないが、使いやすさも考慮されたと思う。現行の教科書は 2 年前に採択され、今回は別の発行者を選ばれた。2 年間の使用で何か明らかになってきたことはあるか？ 前回の採択では、「確実な道徳の時間の実施」が着眼点に含まれていた。今回、光村図書出版を選ばれたが、使いやすさという点からもう少し詳しく説明していただきたい。
- 研究員 A29 光村図書出版は、発問の流れが児童の思考により合致しているので、現在使用している教科書以上に、多様な考えに触れること、深く考えることが容易になっている。終末の発問についても、生活に広げることより道徳的価値について内面的自覚が図られるものとなっている。また、記述欄の内容と評価の関わりについても、光村図書出版の方が、より配慮された内容となっている。
- 委員 Q30 自分にとって道徳の時間は、取り上げられる題材によっては気が重くなるものであった。光村図書出版と光文書院を読み比べると、光文書院の方が明るい題材が多く、挿絵の表情も明るいように感じた。「児童が自ら関心をもって読み進める」という観点からは、明るい題材が多く取り扱われ、児童が楽しく学べる教科書の方がよいのではないか？
- 研究員 A30 写真資料などは、光村図書出版の方が児童にインパクトがあるものであった。また、学んだことを実生活につなげるという点からも、いじめ問題、自然環境などについて長期休業前に家庭で話し合うような工夫がなされていた。
- 委員 Q31 道徳訪問の際、道徳の時間のアクティブラーニング化という観点から、「価値についてどう思うか？」を問うことで多様な価値観を引き出し、考えを深めることが大切という指導を受けた。発問を比較すると、「あなたならどうですか？」という問いを多く投げかけている光文書院のよさがあると思うがどうか？
- 研究員 A31 光村図書出版には、主発問で価値への理解を深め、最後に「つなげよう」という投げかけがある。そこで「あなたならどうしますか？」と問い、表現の仕方として役割演技やロールプレイングなど多様な方法を示している。よって、価値についての考えを深め、広げることができるようになっている。
- 会長 道徳の教科化については、教育長会でも度々議論してきた。結論として、授業そのものが大きく変わるものではないと認識している。ただし、価値や行為・行動に対する児童の考えを問うような発問については、注視していく必要がある。
- 委員 (A31 に対して) 光村図書出版にも同様の配慮があると理解した。ただし、発達の段階によって、低学年ほど主人公になりきって考えを表出させるという手法を取ることもあるということは考えられる。
- 委員 自分の思いを言葉で伝えることが、道徳でも国語でも求められる。また、言葉で伝えるというのは、日本人にとって苦手なことなのかもしれない。光村図書出版は、多様な発問によって思考や心情・行動を表出させようとしている。低学年にとっても、具体的な問いで考えやすくなっている。道徳の時間は、目には見えない人の繊細で多様な内面を見ていくものであり、人間教育としてその充実に期待している。
- 採 決 <賛成多数により、光村図書出版の教科書を選定>

会 長	小学校用教科書の選定が終了したので、選定結果を確認する。 【国語】・・・・・・・・・・・・・・・・・・光村図書出版 【書写】・・・・・・・・・・・・・・・・・・光村図書出版 【社会】・・・・・・・・・・・・・・・・・・東京書籍 【地図】・・・・・・・・・・・・・・・・・・帝国書院 【算数】・・・・・・・・・・・・・・・・・・大日本図書 【理科】・・・・・・・・・・・・・・・・・・東京書籍 【生活】・・・・・・・・・・・・・・・・・・東京書籍 【音楽】・・・・・・・・・・・・・・・・・・教育芸術社 【図画工作】・・・・・・・・・・・・・・日本文教出版 【家庭】・・・・・・・・・・・・・・・・・・開隆堂出版 【保健】・・・・・・・・・・・・・・・・・・東京書籍 【英語】・・・・・・・・・・・・・・・・・・東京書籍 【道徳】・・・・・・・・・・・・・・・・・・光村図書出版 以上を、令和２年度使用小学校用教科用図書の採択原案とする。
-----	---

(２) 令和２年度使用中学校用教科用図書の提案及び採決

・事務局より、次のとおり提案。

①「特別の教科 道徳」以外の教科書

→平成 30 年度検定において新たに合格した図書はなかった。文部科学省の通知には、「基本的には前回の平成 26 年度検定合格図書等の中から採択を行う」及び「４年間の使用実績を踏まえつつ、平成 27 年度の採択における調査研究の内容等を活用することも考えられる」と示されているので、令和元年度と同一の教科書を新たに採択する。

②「特別の教科 道徳」の教科書

→義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 14 条及び同施行令第 15 条の規定により、令和元年度と同一の教科書を採択する。

③全ての教科書について、これまで不都合や採択の公正を欠くという報告、教科書展示会での著しい意見が無かったことを、併せて報告する。

④令和２年度使用小・中学校用教科用図書一覧（案）に、選定いただいた小学校用教科書を加え、東濃採択地区の採択原案とする。

＜全員一致により、事務局提案を可決＞

5 諸連絡

- ・今後、各市教育委員会において、採択原案を基に採択の議決を進めていただく。
- ・東濃地区の採択は、５市の教育委員会の議決が全て終了した時点となる。
- ・情報公開の９月１日までは、情報の保持及び公正確保に引き続き十分留意願いたい。
- ・地区協議会関係文書の情報公開については、多治見市教育委員会を窓口とする。

6 東濃採択地区協議会副会長 あいさつ

- ・委員の皆様の積極的な審議により、円滑に本協議会を実施することができた。
- ・協議会委員という責任ある役割をお務めいただいたことに感謝申し上げる。